

かやぶきの里 北村

京都府南丹市美山町北にある山村集落。北村にある50戸のうち38棟(住宅32、資料館・店舗6)が茅葺き屋根の建築である。集落における茅葺き建築数は岐阜県の白川郷、福島県の大内塾に次いで全国第3位。平成5年12月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。



JR 日吉駅にて下車、南丹市営バスに乗り換えて45分ほどでかやぶきの里(北)に到。豊かな自然と色とりどりの草花に包まれたかやぶきの里の風景は、初めて訪れたのに懐かしさを感じた。時間がゆったりと流れる。



バス停の近くにお土産屋のかやの里とお食事処きたむらがあり、集落の中心部には民俗資料館とかやぶきの交流館や民宿がある。その他に多くの民家があり、実際に人々が生活を営んでいる。地元の食材にこだわって作られた吉之丞のパンは美味だった。かやの里の餅や団子も北村で採れた米・きび・あわ・よもぎを材料にして作られている。

第26回国民文化祭・京都2011 灯りの祭典 ～かやぶきの里からツナグ～ 2011.11.03



午後5時、西日が里を黄昏れ色に染める頃、かやぶきの里を淡い灯りが彩りはじめた。日が沈み里を包み込んだ黒いベールの上に、その灯りはかやぶきの家を優しく浮かび上がらせていた。



「ぬくもりの里へ」

EOS 60D・EF-S15-85mmF3.5-5.6 IS USM・21mm・F4.0・1/30秒・ISO-400

里を幻想的な灯りで彩る竹灯籠「ちかけん」。竹に刻まれた美しい模様が暖かく浮かび上がる。この日、かやぶきの里には多くの人々が訪れた。灯りの競演を楽しむとともに心に温もりを感じたに違いない。





「続く路」

EOS 60D・EF-S15-85mmF3.5-5.6 IS USM・15mm・F3.5・1/10 秒・ISO-3200



かやぶきの里 雪灯路

雪化粧をしたかやぶきの里に優しい光が灯り路が出来た。里を訪れた人々がスコップやバケツなどの道具を貸りて作った雪灯籠(雪ぼんぼり)や雪造を楽しむことが出来た。

午後 6 時 30 分頃には花火が打ち上げられ、冬の空に大輪の花が華麗に咲いた。



「雪のけもの」

EOS60D・EF-S15-85mm F3.5-5.6 IS USM
・15mm・F5.0・1/15 秒・ISO-1600



「冬華」

EOS60D・EF-S10-22mmF3.5-4.5 USM・17mm・F8・66 秒・ISO-100

